

令和4年度第3回「金沢の未来を語る会」

- ・日時：令和4年11月10日（木）18時30分～
- ・場所：西部環境エネルギーセンター 学習室

1 開会

【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。

夜のこの時間にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

着任をして半年ほどがたちました。今年度と来年度の2か年かけて、後ほど申し上げますけれども、新しい都市像をつくっております。

10年後の金沢の都市像をつくっておるわけですが、実はまちづくりミーティングというので、町会連合会の方々に対してお話をしておるんですが、これを3年ぶりに今年は行っております。

そして、今回は都市像をつくるということをテーマに行っております。都市像をつくるという大事な機会ですので、今年度については公民館の方々、そして校下婦人会の方々にお話をさせていただいて、より幅広く意見交換もしたいという趣旨で開催をさせていただいております。

全体で4回、公民館と校下婦人会の皆さんを対象として行っていくということで、うまく分散ができなかったところもありまして、今日は非常に密度の濃い話ができるというように思っております。

よろしく願いいたします。

2 市長講話「親和力で奏でる金沢」

市長講話の内容については、レジュメを参考願います。

3 意見交換

【押野公民館】

今日は大変お忙しい中、こういう機会を設けていただいたことに心から感謝を申し上げます。そしてまた、直接市長さんのほうからいろんなお話を聞くことができ、またこうやって意見交換をする場を設けていただいたことに改めてまた感謝を申し上げます。

その上で、私のほうから3点少しお願いをしたいというふうに思います。

まず1点目です。押野公民館は平成6年に市民センターと児童館と公民館、3館の複合館として設立をしております。私は今年、公民館の館長になって、改めてその館長という立場でいろいろ見ましたところ、実は児童館のほうが空調設備というのがなかなか充実していないということが分かりました。山野前市長のときに猛暑対策ということで、小中学校にエアコンの設置ということで、既に設置率がかなり進んでいると思いますけれども、実は児童館のほう、私どもの児童館のほうで空調設備というのがなかなか充実していません。猛暑、猛暑と言いますが、もう本当に暑い夏というのが当たり前のような状況になっていて、夏場に子どもたちを昼寝をさせることもできないという状況の中で、公民館のホールで空調を利かせながらお昼寝をさせているという状況ということが今年分かりました。

このことについて、先日、生涯学習課の職員の方に少しお話をしたところ、早速こども福祉課の職員の方が児童館のほうに見えられて、現況の調査ということで、実は3館の複合で電気容量が足りないということが分かりまして、電気での空調の設置というのはなかなか難しいというお話もいただきながら、助言としてガスによる熱交換で設置をしたらいいんじゃないかというようなご助言もいただき、児童館のほうでは来年度の大規模修繕ということで要望も出したというふうに聞いております。ぜひ、この点について前向きに予算もつけていただいて、環境改善に向けて取り組んでいただければありがたいということが1点。

それから、8月4日の大雨、このときに実は押野地区にも避難指示が発令されました。私の記憶する限り、押野地区に避難指示という形で出たのが初めてかなというふうに思っています。私も公民館館長になって、充て職という形で校下の防災対策委員会の副会長という立場になっておりますけれども、改めて自分の地域にこの避難指示が出たときに、どういうふうに動いたらいいのか全く心構えもできていないなということが改めて分かり、また、当日8月4日を振り返りますと、朝、ニュースであの日は新潟、山形のほうで線状降水帯で大雨になってひどい災害が出て。大変やな。本当に人ごつのようにして会社に行って、僅か数時間後に非常に大雨が出て、押野地区にも避難指示が発令された。私の住

んでいるところには十人川という川が流れていて、ここもピーク時には越水するまで大体80センチぐらい、1メートル切るという状況になりながら、そういう中でどうやってやったらいいのかなということが非常に悩み事として感じました。

ここでお願いします。改めてこういうようなときに、どういうふうに動いたらいいのか。この辺のところのマニュアルについて、また危機管理課さんを含めてご助言をいただけるようにお願いをしたいということが1点。

さらにそのときに町内の防犯隊のほうで、LINEアプリを使いながら写真あるいは動画で十人川がどういうふうになってる。町内がこういうふうに路面冠水しているという情報交換をグループLINEでかなり有効にできたかなというように思います。改めて後から見ると、LINEアプリを使っただけの防災計画ですとか防災訓練というのも取り組まれている行政もあるというふうに分かりましたので、この辺もまた金沢市のほうで、そういったことも少し今後の検討課題としていただけたらありがたいなということが1点。

それから、20年後の人口動態というお話が出ました。当然、私どもの校下の中でも高齢化というのが進んでいて、また一方、高齢者による交通事故の話とかも出ていて、免許返納云々かんぬん、現実の問題として出てくるのかなというふうに思いますけれども、ただ押野校下というのは、今でも私の住んでいる八日市のところでは、市内のほうに出るには朝と夕方ぐらいの北鉄のバスしかないという状況です。免許返納しても、じゃ市内のほうに出る足がどうなるんだろうというような心配もありますので、後段の部分で少し新しい交通システムというお話も出ましたけれども、駅を中心にして市内の中心部だけではなくて、我々の住んでいる郊外といいますか、辺境部といいますか、その辺のところの交通システムというのも考えていただけないかなと。その辺がまた免許返納しても活動が自由にできるなという安心感につながると思いますので、ぜひその点も検討していただけたらありがたいなというふうに思います。

【山崎危機管理課長】

危機管理課でございます。よろしくお願いたします。

2点ほどあったかと思えます。まず8月4日の避難指示の件でございますが、今回、押野地区につきましては伏見川の水位が上がっていったということで、越水をした場合の浸水をする区域を対象に避難指示のほうを出させていただいております。実際に避難指示が出てしまうと、どういうふうにしていけばよいか、なかなか多分慌てるんじゃないかなと

思いますし、実際、避難指示を出したのは浅野川大水害以降の中でありませんでした。なので、10年以上たって出ているということで、なかなか多分どういふふうにするにすればいいのかわからない方がほとんどじゃないかなというふうに思っています。

令和3年の6月に、実は市内のご家庭全戸にこういうパンフレット、表裏のこういうものを配布させていただきました。この中のレベル4というところの紫色のところ、避難指示。今回は、朝方にある一定の状況になると災害が起きるかもしれないということの情報が入ってきたのを基に避難指示のほう出してます。実際に、大体約2時間程度前にそういう情報が気象台及び石川県と共同で出されるということを受けて今回出しております。

実際に、どういふふうに避難をしていけばいいかということで、その前提となるのが皆様のお住まいの地域がまず水害であればどういった水害が発生するのかというのを、ハザードマップというのをインターネットでも見れますし、全体のものもあります。あと、各地区ごとに詳細なハザードマップのほう、これもインターネットにございます。こういうのを基に、まずお住まいになっているところがどういふ状況になるのか、その上で、もし浸水が50センチまでに満たないということであれば、まずご自宅にいたほうが安全かもしれないという状況かと思えます。逆にこれが3メートルもしくは5メートルとかというようになってきますと、建物の1階、2階が水没しますのでいち早く避難所のほうに避難をしていただくと。そういうところの判断が必要になるかと思えますので、まずこういうハザードマップを基に確認をしていただきたいなというふうに思っています。

この辺のところは、なかなか分からないところもあるかと思えますので、危機管理課のほうにお申込みをいただいて、地域でかがやき発信講座という形で防災のための講座を開催しておりますので、そういう形でまたお話をさせていただければいいかなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

それとLINEアプリの情報交換というところですが、まだ金沢市のほうは広報という形でLINEのほうは使わせていただきまして、行政のほうから発信する情報として使っております。各地域のほうには結ネットというアプリのほうもあろうかと思えますので、まず行政から出す部分はそういう形で出していこうかなということで、今回8月4日のときもいろんな情報発信のツールを使って情報を出させていただいております。今後、いろんな形でこういうものは、要は双方やり取りできるようなことも含めて、今後はまた考えていきたいなと思っております。よろしく願いいたします。

【新保都市政策局長】

私のほうから、バスのことのご質問あったかと思います。先ほど市長の講和にもあったとおり、今第3次交通戦略という計画をつくってます。この交通戦略というのは、市内のそういう公共交通をどうやって使いやすくしていくか。皆さんにまずは乗ってもらうということで、どういう環境を整備していこうかということを中心にエリアを考えながらやっていこうという、そういう計画です。

この第3次交通戦略については、今後、皆様方の地域のほうに入って、それで説明会もさせていただくような日程にはなっております。その中で、今ほどご質問あった高齢者の免許返納ですね。これについては、やっぱり一番皆さんが心配されるのは免許返納したときに自由に外出がしにくくなる。バスがやっぱり不安だということですね。やっぱり使い勝手がいい地域とあまりバスがない地域がありますので、特に郊外部ですね。特に中山間地域なんかは今、コロナ禍で交通事業者が疲弊しておりまして、ルートが削られたり、間引きされたりということが少しあります。

その中で、交通事業者も一生懸命頑張ってるんですが、どうしても皆さんに乗っていただかないとそういうことになっていって、今、少しウィズコロナで戻ってきてるんですが、それでも路線バスは8割、9割という戻りだそうです。ですので、もう100%コロナの前には戻らないんじゃないかなということもあります。特に、交通事業者はこれまで観光とか貸切りバスで儲けた部分を路線バスの赤字に補填をしていたということがあって、それがまだ戻ってないということで大変厳しいと。

我々が高齢者の免許返納に関しては、その後、例えばバスの回数券を返納された方にお配りをするとか定期券を助成するとかそんなことの施策はしてるんですが、そういうことがまだ周知されてないということで、それがなかなかうまくいってないという部分もございます。

あともう一つ、郊外部は地域運営バスというのがありまして、それは地域の方々、町会連合会単位でそういうバスを運営していただく。あくまで地域が運営するんですが、市役所から助成をするという仕組みがございます。それは、北陸鉄道という路線バスの経路を邪魔しない範囲で移動する場合、例えば地域で拠点病院へ行くとか、ショッピングセンターへ行くとか、高齢の方ですとそういう日常的に使われる場所がありますので、そういうところへの送迎なんかに使われるということは今やっている。

特に今、森本地域でチョイソコというそういう仕組みをつくりまして、それを地域が運

営するというので、今、実験的に実証試験をやっておりますので、そんなことが今後、郊外部においては広く出てくる可能性がありますし、そういうこともお知らせをしながら皆さんに公共交通に乗っていただくということもやっていきたいなと思っております。

【村山金沢市長】

あともう1件、最初にいただいた公民館の関係は生涯学習課おるんですけども、児童館のほう、こども未来局が担当になります。全体の予算の中でということになってしまうとは思いますが、ご事情は承りました。

【押野地区校下婦人会】

小さなことなんですけれども、今、私まちなりの緑の自転車を娘に教わって少しずつ練習してるんです。そうすると、ママチャリと違ってあれ電動だから推進力がぐっとくるんで、すごくスピードも早いんですけれども、まずそのスピードに慣れることと、あと乗っていると道路の凸凹、アスファルトの溝の割れ目、あの少しの数ミリの割れ目のところにタイヤが沿っていくとスピードが出るもんだからとっても危ないの。

私の押野校下が、西金沢駅前がちょうど南方向の一番最後ぐらいかな、隣の野々市駅はもう野々市になってしまいますから、先ほどお話された押野の公民館長さんのところ、八日市のほうになるんで、あちらにはまちなりの自転車ないんですね。西金沢駅から、今度金沢市内へ行くところはすごく朝方と夕方と交通量多いですよ、高校もあるんで。とても危険なんで、慎重には運転していますけれども、でもまだ50代、60代の方たちも元気に自転車乗ってる姿を見ると、これからも本当はそういうのもっと使えるようになるというと思うんですけれども、ちょっと交通を、危険なところがないのかそこら辺をもう一度見直してほしいなと思います。

【新保都市政策局長】

まちなりのことで、まちなり自体も公共交通の一つとして、我々も位置づけておりまして、その第3次交通戦略の中にもまちなりは書かせていただこうと思っております。

もともとまちなりは、観光客の方がコンパクトな町なかを回遊性高く回るために、いろんなところに文化施設がありますので、その観光客のためにつくったものなんですね。ですから、ほとんどが町なかにそういうポートがあったんですけど、最近ではコロナ禍で観

光客が来られなくなって、市民の方が通勤とか通学とかで使われるということも多くなってきて、ポートも少しずつ郊外のほうでもそういう拠点的なところには置きましょうという考え方になってきたんですね。

ただ、本当に町なかから遠い区域には、まだ置いてありません。唯一置いてあるのは、金石・大野地域です。あそこはあそこで回遊性が高いものですから、あの辺の観光地として置いてあります。ですので、今後、まちのりもどういうふうに置いていくかという考え方もつくりながら拡充はしていきたいなと思っているんです。

ただ、今ほど言われたとおり、金沢は戦災に遭ってない町なので、道路事情がやっぱり悪いんですね。自転車で高校生なんかぴゃーっと飛ばしますし、車と自転車がやっぱり輻輳する場合もたくさんあります。自転車の走行帯というのを町なかでは見られたかどうか分からないですけど今、引いてるんですね。全体で60キロ、国道、県道、市道でやってみましょうということで引いてますので、そこに沿って自転車は走っていただくような形で、今後、それも少しずつ広めていきますので。

そんな形で、ちょっと道路事情が悪いというのはどうしても金沢は雪も降って除雪もあつたり、その後になると道路がまた凸凹になったりしますので、それもなかなか道路を管理している道路管理課のほうもいろいろ頑張ってるんですけど、なかなかその辺は一朝一夕には解決はしないと思いますので、ゆっくり漕いでいただくしかないかなと思います。

【押野地区校下婦人会】

コロナの前までは、私、犬の散歩で駅前に毎日行ってたんです。そうすると緑の自転車があって、誰も使う人がいないっていう状態が何年もありました。でも、コロナになってから奪うよう、競い合うように、本当にゼロ台になってることもあつたりして、そのうちに駅の向こう側にも緑の自転車並ぶようになって、通勤通学に使ってる方が多い。30分待たないとバス来ないんで、それだったら乗ってたほうが早いという格好で、非常に使われてます。で、今後も増えるんじゃないかなと思ったことが一つと。

もう一つが、私が使っていて夕方暗くなってくると、止めたときのあのセットする文字盤、あれが読めないんです、暗くて。ライトを当ててこうやって見るけれど、ちょっと文字がちっちゃいのか、今後改良されるときにはちょっと読みやすくなるようになればいいなと思います。

【新保都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。

コロナ禍でやっぱり皆さんお使いになったのは、バスに乗りたくなかったんですね。密室空間で、やっぱりコロナでバス使われなくて、じゃどうやって行こうかというときにまちのりがあったんで多分使われたんだと。それが習慣になると、やっぱりバスは乗られなくなるので、その辺やっぱりちょっと北陸鉄道としてもつらいなということもありまして。ただ、まちのりは全体で500台しかまだないもんですから、皆さんが確かに拠点のところに置いてあって、奪い合うようにという話ありましたが、なかなかそこまで西金沢の駅だけ何十台も置くという状況でもないので、今後、拡充していくような考え方をつくった後で、どのような配置になるかっていうのをもう少し考えていきたいなと思います。

【長田町公民館】

私、かれこれ20年ほど公民館活動に携わっておりますけれども、この2年間、大変公民館活動の危機を迎えてるんじゃないかなというふうに思っています。イベント等も我々公民館の役職員はプロではございませんので、2年前、3年前、どんなことをしてたかなというようなことを思い出すだけでもなかなか大変ということで、先般、実施しました文化祭も、やってみたらばたばたというような状況が見受けられました。

予算的にもぜひお願いしたいというふうに思いますが、そういった公民館の職員といいますか役員を支えるような、サポートみたいな、そういったことにもぜひこれから力添えをいただきたいなというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

【安宅生涯学習課長】

どうもありがとうございます。生涯学習課の安宅でございます。

今、皆さん文化祭をやっておいでるところだったと思います。私らのほうも、職員が皆さんのところに行って、実際に見せていただいています。

昨年と比べたらどうかなという話になると、少しやっぱり人もたくさん来ているような状況かなというふうに思います。去年なんかは、やっても展示物だけしかないっていうところもあったし、実際やってなかったっていう、中止にしたっていうところもあったかと思えます。

今年に関して言うと、少し和らいで、きっと百万石まつりとかもやったし、マラソンもやるしということで通常に戻ってきているとは思いますが。

今後どういうふうにしていくかっていうことは、きっと公民館委員さんも交代になるとなかなかそのノウハウというのが分からないままやっていくということが非常に多いのかなってというのは現実問題あります。

一例とすれば、やっぱり市長の講演にもありましたけれども、若い人たちが参加していただいとるところはなんとなくやっぱり活気があるかなっていうふうに思いました、個人的にも。その人たちがいろんな企画、アイデアを出していただいて、それに初めてやけどやってみようみたいな形でなってるのかなと。

もちろん館長さんらは最終的な責任取らんなんということで、何かとちょっと安全に、安全にっていうところもきっとあるのかなというふうには思うんですけど、意外と公民館委員さんとかの若い方が一生懸命その企画をやったっていうことに関しては非常に熱もあつたようなところもあり、もちろん失敗とかもきっとあると思うんですけど、今のところそういう大事故ということまではこちらのほうでも聞いてないところになりますので、今はもう、どちらかと言うとそういう形で進めていくしかないかなと。

もちろん何か分からないこととか、こんなことしても大丈夫かな、コロナのときにこんなことしてっていうことは生涯学習課のほうに相談していただければいいかなというふうに思います。もちろんやる直前っていう話じゃなくて、できれば事前にこんなことやりたいんやけどっていう計画があればまた言っていただければいいのかなというふうに思います。

【長田町公民館】

そういう若い方というのはどんなきっかけで参加することになるのか。

【安宅生涯学習課長】

例えば、PTAを巻き込むとか。PTAを巻き込んで、PTAの方々がいわゆる模擬店とかいろんなイベントをやる、そこには必ずその子どもたちが来るっていうことで、非常ににぎわっているっていうところもありました。それはそれでまた安全面とかで、いろいろ考えなくちゃいけないので、館長さんのほうは骨を折るっていう形にはなるんですけど。ただ、そういう若い方々が一生懸命やっつる姿を見とると、なんとなくその地域として

も盛り上がってるなっていうのは非常に、行ったところでは見た感じそう思ったので。

あと、青年団みたいな方々っていうのもやっぱり、なかなか一人一人っていうとなかなか難しいんでしょうけど、まとまるとすごい若い方ってすごい熱が出るのかなっていうふうに思って、そういうところも結構盛り上がっているところはあったかなというふうに思います。

若い人だけでなく、ご高齢の方も元気な方いっぱいいらっしゃいましたんで、一生懸命やっていただいとるところもありますけど、そういったヒントっていうのは、また私らも各地区見てますし、そういったことをまた言っていただければ幾らでも相談できるかなというふうに思います。すいません、答えになってなかったかもしれませんが。

【長田町公民館】

ありがとうございます。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

今日は遅い時間までありがとうございました。

また皆さんからいただいた意見と、これでまだ言い足りなかったところはアンケートもお書きいただければと思いますけれども、こちらを踏まえながら、また今年度、来年度の2か年かけて都市像をつくっていきますので、またご意見ございましたら市のほうにお寄せいただけたらというふうに思います。

本日はありがとうございました。